

1, 赤塚新町小の価値をより高めるため

(1) 本校の教育目標

「かしこく」: 筋道の通った考え方をし、正しい判断力を身につけ、実践する児童

「つよく」: 常に希望を持ち、明るく健康な心と体をもった心身ともにたくましい児童

「あたたかく」: 自然や文化・郷土を愛し、生命を尊重し、

思いやりと感謝の心をもった情操豊かな児童を育てる、である。

その基本は、人間尊重の理念を正しく理解し、国際社会にあって日本人としての教養と誇りをもって生涯を通じて自ら学び、考え、行動し、主体的に自己実現を図ることができる豊かな心をもった児童の育成を目指している。これまでの取組を大切にしながら、信頼と安全を基盤として「責任と協働」をキーワードに全職員が一丸となって、豊かな教育活動を充実させたい。

(2) 家庭・地域との連携

教育は学校だけでは成り立たない。家庭や地域と連絡を取り合い、三者がその役割を自覚し、それぞれがもつ教育力を生かしながら互いに連携しあいながら教育活動を展開していくことが大切である。学校だよりやホームページ・学校公開・保護者会等を活用して、経営方針や教育内容ならびに成果等、学校教育の現状を説明して、理解と協力を得たい。全職員が経営参画意識をもち、それぞれが持つ能力を発揮し、組織体として機能する学校経営を進めたい。

(3) 子どもの安全確保

子どもの安全確保については、今まで通り、いたばし子ども見守り隊・スクールガード・PTA 役員・学級代表部・ぼらぼらサポーターズの協力を得、学校と協力して行っていく。

(4) 新教育課程元年

今年度から、新教育課程の完全実施である。本校は昨年度から、先行実施を行い、生きる力の基である「確かな学力」を身につけさせている。さらに、豊かな体験活動等を通して、言語活動能力を高め、知識・技能の活用能力を伸ばしていきたい。そこで今年度は、「言語活動の充実」をねらい、全学年で行う外国語活動も含めた「自分の思いや考えを伝え、互いに理解し合える子どもの育成」を校内研修のテーマとし、指導方法や教材等の研修を行っていく。

2, 目指す学校像

◎活力ある学校の創造・・・学校力のある学校

◎楽しい学校の創造・・・子どもたちも職員も毎日が楽しい学校

◎分かる授業の創造・・・確かな学力の定着を目指す学校

3, 基本方針

基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る教育を重視し、自ら課題を見つけ、学び、考え、正しく判断し、表現できる力とたくましく生きる力をもち、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた豊かな人間性・創造性に富む子どもを育成する。

学校経営計画に基づいた新たな学校評価システム（PDCA）による評価を実施し、学校運営や教育内容の改善・充実に努め、教育の水準維持・向上を図る。

（１）確かな学力の定着

- ・個に応じた指導および TT・少人数授業の指導を充実させ、学力の向上を図る。
- ・フィードバック教材等を活用し、基礎的・基本的知識・技能の確実な習得を図るとともに、知識・技能の活用を図る学習活動を充実させる。
- ・全教科・領域において言語活動の充実を図り、「聞く・話す・読む・書く」の言語能力を高め、コミュニケーション能力を培う。
- ・夏季休業中の自主学習や補習を通し、学習意欲を高め学習習慣の定着を図る。
- ・学習指導講師や理科支援員・ALTの積極的な活用を図る。
- ・外に視野を広げ、互いに学びあい高め合う教師集団づくりを目指す。

（２）心豊かな人間性の育成

- ・人権教育・道徳教育・環境教育の充実を図り、豊かな人間性を育てる。
- ・地域の人との交流を通し、社会の一員としての自覚を高め、社会に貢献し地域を愛する心を育てる。
- ・特別支援学級との交流や体験活動・話し合い活動・異学年集団活動による活動の充実化を図り、他者を思いやり、人間理解を深める心を育てる。

（３）健康・体力づくりの充実

- ・体育の授業・体育的行事・朝マラソン等を通して体力の向上を図り、心身ともにたくましい児童を育てる。
- ・安全教育・食育指導等を通して、心と体の一体化を目指した健康教育を推進する。
- ・家庭・地域と連携した健康体力づくりを推進する。

（４）開かれた学校づくりの推進

- ・地域・保護者の力を取り入れた教育活動を推進する。
- ・「学校運営連絡協議会」「学校防災連絡会」「学校保健委員会」を充実させる。
- ・地域・保護者の参画・評価を求め、学校改善に活かす。

4. 特色ある教育活動

- （１）通常学級と特別支援学級との交流を計画的に行い、好ましい人間関係を育てる。
- （２）朝の読書活動（週２回）の充実、月１回の地域人材による読み聞かせの継続化を図り、豊かな感性を磨き、柔軟な思考力を培う。
- （３）朝の算数タイム（週１回）において、理解度の状況把握のもと基礎学力の定着を図ると共に、算数ぎらいの子どもを減らす。
- （４）IS014001に基づく節水・節電・リサイクル・緑のカーテン等による環境教育の推進を通して、環境保全に貢献しよりよい地域・社会を築いていこうとする児童を育成する。

5. 生活指導・進路指導

- （１）基本的な生活習慣の定着を図るとともに、社会規範を守る生活態度の育成に努める。
- （２）全教職員で児童理解を深め、情報の共有化、共通の指導体制を図り、一人一人の児童の自立心や可能性を伸ばすための生活指導を充実させる。
- （３）スクールカウンセラーの協力を得た教育相談体制を充実させ、教師と児童・保護者、児童相互の信頼関係の確立に努め、いじめ・不登校のない学校づくりを推進する。

- (4) 安全指導・セーフティ教室の充実を図り、家庭・地域社会・関係諸機関との連携を密にし、児童の危険予知・回避能力の育成と健全育成に努める。
- (5) 自分自身を見つめ、自らの将来について目を向ける機会を通し、自分の特徴に気づき、自分らしい生き方を実現していこうとする態度を育てる。
- (6) 人との関わりの大切さを体感させ、勤労観・職業観を育み、社会・地域に貢献しようとする態度を培う。

6. 異校種間連携

- (1) 赤塚ブロック（あかつかつ子学びエリア）担当校として、近隣の幼稚園・保育園及び赤塚ブロックの小・中学校（赤塚小・下赤小・赤三中）との連携を図り、学校間の交流を密にして、児童の成長過程を見守る体制づくりを推進する。
- (2) 特に中学校との連携では、外国語活動と英語、算数と数学の結びつきを重視し、中学校の教職員との合同研修会（小中連携研修会）等を通じて、情報・課題・目標・指導方法などを共有化し、カリキュラムの一貫性を目指す。

7. 全体の奉仕者として

私達公務員は全体の奉仕者として、区民・都民の信託に応える責務がある。今、世間の目は大変厳しい。板橋区は昨年度、10回以上の服務事故が起こった。今後とも、教育公務員であるということを再認識し、人権意識を高め、言動と個人情報の取り扱いには十分留意したい。

また、教育実習生が毎年、各学校で実習する。将来の日本の教育を背負う後輩達を、ぜひ、温かい目で育てて欲しい。昨年通り、本校での、実習生の担当教官は本校の着任順とする。

8. 赤塚新町小学校の教師像～開校以来の教員伝達事項～

- ・子ども一人一人を大切にし、公平に接し、可能性を引き出す教師。
- ・愛情細やかで、是非を明確にし、信念を持って職務を遂行する教師。
- ・新しい教育の理念や方法・技術を取り入れ、創意工夫に取り組む教師。
- ・子ども、保護者、地域、同僚から信頼される教師。
- ・健康で明るく、人間味のある教師。
- ・サービスの厳正を自覚している教師。
- ・自分に厳しく、人には優しい教師。

<今年も、先輩の先生方を見習い、がんばりたい。>

【赤塚新町小学校とは、

あかるく、(明)

かがやく、(輝)

つよく、(強)

かしこく、(賢)

しんけんに、(真)

まなび、(学)

ちえ (知) が身につく **小学校**】